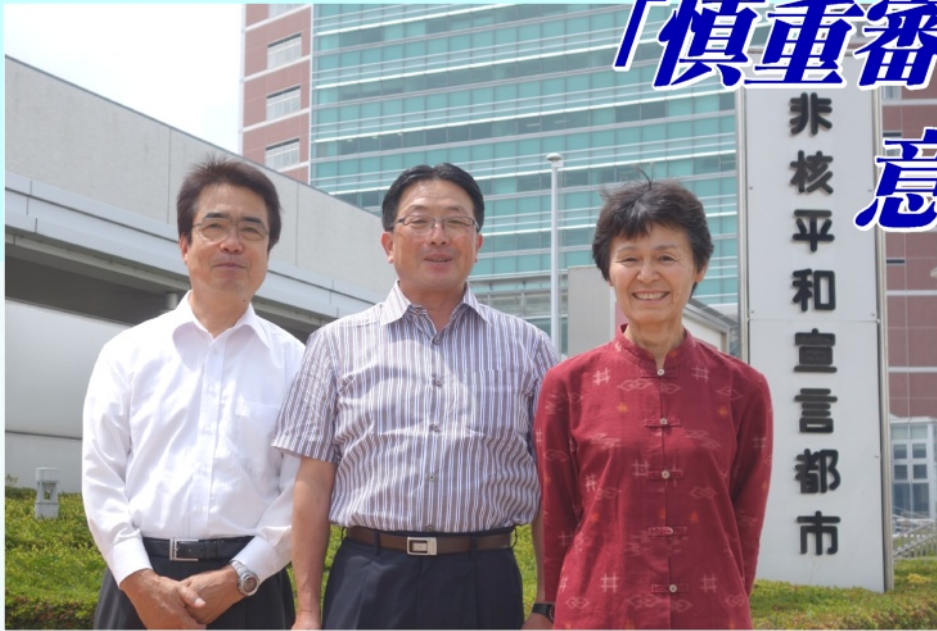


すずか民報

第141号
2015年8月

日本共産党鈴鹿市議団 市議会報告

戦争法案(安保法制)の 「慎重審議」を求める 意見書を採択



3名になった共産党市議団・「非核平和宣言都市」パネル前で

6月29日の市議会本会議で、「安全保障法制の慎重な審議を求める意見書」が採択されました。(賛成21、反対10) いま国会に安倍内閣が提出している安保法制法案について、市民団体「9条の会すずか」から提出された請願書を審議・採択したことを受けて、鈴鹿市議会からの意見書として政府と国会に送付されました。

た。

憲法9条違反の悪法、 強行成立ゆるすな

請願の審議の中で、森川ヤスエ議員は賛成討論に立ち、次の点について意見を表明しました。

- ①いま国会に出されている一連の法案は、「平和安全法制」と銘打っているが、歴代自民党政権でも認めてこなかった「集団的自衛権」を行使するための法的整備であり、憲法9条違反の法案である。
- ②これまで自衛

隊が海外で活動する場所が「非戦闘地域」という憲法上の制約があったのを取り払い、「戦闘地域」にも行くことになる。戦争している米軍と一体となった「後方支援」は武力行使である。

- ③多くの憲法学者が憲法違反だと表明している、また国民の多数が今国会での成立に反対と言っている中で、数の力で強行しようとすることは、民主主義に反する行為である。

戦争法案は衆議院では強行採決されましたが、参議院での審議の中で憲法9条違反の本質が明らかにされ、廃案にするよう市民の声を大きく上げていかねばなりません。

末松市長

「憲法9条は変えてほしくない」

6月15日の本会議一般質問で石田秀三議員は、「非核平和都市宣言」30周年に関連して、平和行政の基本は憲法の平和主義に置くべきだとの立場から、宣言文中に「永久に戦争の放棄を誓った国民として」と書かれていることを大事にすべきだと求めました。

また末松市長が、昨年9月議会での憲法9条につい



ての答弁について、今も変わっていないか確認を求めました。末松市長は、「憲法の徹底した平和主義は変えてほしくない」との考えは今も変わらないと答えました。

お年寄りの「生活交通」バスを

6月議会で初めての質問に立った橋詰圭一議員は、選挙でいちばん強くうたった「高齢者の生活交通」の検討を求めました。

鈴鹿市でも高齢化がすすみ、多くの市民から、車に乗れなくなったり車を手放してしまうと、買い物にも病院にも、どこにも行けなくなる、何とかしてほしいとの声が寄せられています。

玉城町の「元気バス」 を見習って

橋詰議員は、三重県玉城町で走っている「元気バス」を紹介し、鈴鹿市でも走らせることを提案しました。玉城町では予約式の小型バス(オンデマンド交通システム)を使って、9人乗り



橋詰 圭一 市議

橋詰議員は、お年寄りは1キロも歩いて駅やバス停まで行けない、せめて半径150メートル以内に来るバスが必要だ。産業振興部が担当するバスとは違う、高齢者福祉の視点からお年寄りの「生活の足」として、生活交通バスの検討をすすめることを求めました。

高齢者担当部署の答弁は、課題としては認識しているが、小型オンデマンドバスの導入にあたっては、公共交通のあり方をどうするかが前提になる、とのことでした。



玉城町「元気バス」の見学会(7月2日)

高齢者福祉・介護は すべて市の責任で

「広域連合」を解消し、鈴鹿市一本の体制に

「広域連合」は

なぜあるのか？



石田 秀三 市議

6月議会代表質問で、石田議員は「鈴鹿亀山地区広域連合」の解消を提言しました。「広域連合」は鈴鹿市・亀山市・関町の3市町で2011年に設立されましたが、それは当時の3市町「合併」を目的としたものでした。しかし、合併は実現せず、鈴鹿市は単独の市として進むこととなりましたが、広域連合の組織はそのまま残され、現在も介護保険事業をおこなっています。

石田議員は、この際「二階」の広域連合を解消して、高齢者の窓口・体制・責任を市にスッキリ一本化しなければ、矛盾は解決しないと提言しました。

鈴鹿市の高齢者施策の窓口は、市役所の長寿社会課なのですが、いちばん大きな「介護」の窓口は広域連合で、市役所にありません。さらに今年からは介護保険法の改定により、高齢者の生活全般に関わる地域事業が介護保険に上乘せとなりましたが、そのための体制

学校トイレの 改修を急いで



森川議員は、神戸小のトイレの悪臭がガマンできないと、改善を求めて1年半もたつのに、いまだに改善策がない。いつまで待たせるのかとただしました。

教育長は、やっと現地を調査して臭いの原因が分かったので、早く応急処置をすると答えました。

また森川議員は、いま家庭ではトイレの洋式化が進んでいるのに、学校はいまだに和式が主流で、「古くて怖い」と子どもたちが困っ



神戸小のトイレを調べる森川議員

ている。洋式化と、校舎での適正な数や位置を入れたトイレ改修計画を作ることと求めました。

子ども医療費、 中学卒業まで無料に

森川ヤスエ議員は、子ども医療費の無料化について、中学校卒業までの拡大を求めました。



森川ヤスエ 市議

すでに三重県下では23市町が実施、北勢地域では鈴鹿市と菟野町だけが未実施ということ、鈴鹿市はいちばん遅れています。せめて義務教育の間はお金の心配なく病院にかかれ

窓口無料化を、子ども、障がい者、ひとり親家庭の全員に

また、森川議員は、医療費をいったん払って、あとで返ってくる方式から、窓口で無料にする方式に改めることを求めました。

東海4県の中でも三重県だけが窓口無料になっていないという遅れた実態も示して、早期の実現をと質問しましたが、市長答弁は「乳幼児3歳までに限定して、2017年度ごろ」と

「マイナンバー」 今年10月、 全市民に 番号を通知

番号を通知

政府がすべての国民に背番号を付けて管理する「マイナンバー」制度の準備がすすんでいます。その実務は市役所が行い、10月には全員に番号通知カードが届けられ、来年1月からは、申請した市民に「個人番号カード」が交付されます。

「マイナンバー」の利用は当面、社会保障・税金・災害対策に限定されていますが、預金口座や健康情報にも広げ、さらに今後は民間開放も予定されています。

市民の個人情報やプライバシーの漏えい、不正利用や悪用のリスクが多くあるのに、市民にはほとんど説明されていません。

という中、森川議員は、障がい者やひとり親で低所得の家庭ほど、窓口で払うお金がなくて病院に行けない、無料化の恩恵が受けられない、という実態があることを示し、福祉医療の全体を窓口無料にすることを求めました。

中学校給食が 始まりました

5月から中学校給食が本格実施されました。稲生町の第2給食センターから毎日、あたたかい給食が市内10中学校に運ばれます。いろいろトラブルもありますが、現場の声、生徒の声をきき問題を解決しながら日々の業務を進めています。



第2給食センターで試食会(7月1日)

生活相談など
お気軽に連絡下さい

石田 秀三 ☎371-0423
鈴鹿市伊船町 2751

森川ヤスエ ☎384-3740
鈴鹿市矢橋3丁目 10-34

橋詰 圭一 ☎386-8561
鈴鹿市岸岡町 2874-1